

長野陸協

JAAF NAGANO
NAGANO Athletics Association

■長野陸協 会報 2027年 国体まであと9年

第162号 2018年3月25日

発行所 一般財団法人長野陸上競技協会

発行人 内山了治

編集人 葛城光一 内山良一

U R L : <http://nagano-rk.com/>

E-mail : info07@nagano-rk.com

長野東 初優勝 連覇佐久長聖



女子 第34回 春の高校伊那駅伝 男子 第41回

目次

- ①長野東高校・佐久長聖高校優勝
- ②全国都道府県対抗駅伝結果他
- ④長野陸協アスレティックス・アワード2017
- ⑤第20回記念長野マラソン大会

- ⑥2027年第82回国民体育大会に向けて
- ⑨2017年度 主要競技会結果
- ⑩長野陸協会議録・お知らせ
- ⑫会員の寄稿・アジアクロカン他

全国都道府県対抗駅伝 天皇盃 準優勝 皇后盃 9 位

天皇盃第 23 回全国都道府県男子駅伝競走大会 大会報告とお礼 長野県男子チーム監督 高見澤 勝

1 月 21 日に広島市で行われました 天皇盃 第 23 回全国都道府県対抗男子駅伝におきまして、多大なるご支援・ご声援ありがとうございました。

今大会は、昨年に引き続いての優勝を狙いましたが、惜しくも準優勝という結果でした。今大会に向けて、選手・スタッフの派遣等でご協力をいただきました所属長様や監督顧問の方々ならびに、多くのご支援・ご協力をいただき

た皆様方に、心より感謝申し上げます。

今回は連覇という目標を達成することができなかったの
で、来年度の大会は「駅伝王国長野」のプライドを持ち「チーム長野」としてV 奪還を目指していきますので、今後
もご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

簡単ではございますが、大会報告とお礼にかえさせていただきます。ありがとうございました。



阿部知事の激励（祝賞会にて）



閉会式後の男子チーム選手団



在広島信州県人会
会長 小林様



本大会には、長野県知事阿部様、教育長原山様、スポーツ課長内山様はじめ県教委事務局の皆様、信濃毎日新聞社代表取締役社長小坂様、長野県スポーツ振興議員連盟議員の皆様（上の写真左から高島様、佐々木様、諏訪様、萩原会長、丸山様、宮本様）、佐久市長柳田様、長野県体育協会専務理事丸山様、事務局長小林様、京都県人会・近畿県人会・名古屋県人会の皆様方はじめ大勢の皆様のご支援ご声援を賜り誠にありがとうございました。また、恒例の在広島信州県人会主催の「祝賞会」を開催していただき、心から御礼を申し上げます。



信濃毎日新聞社代表
取締役社長 小坂様



佐久市長 柳田様



皇后盃全国女子駅伝 タスキに込めた想い、夢をのせて走り出す。



レース後の選手一同



京都長野県人会会長 有賀様

念願の入賞まであと僅かでしたが、今年も前日の激励会、当日の県人会での慰労会など、京都長野県人会の皆様方、県教育委員会、県体育協会、近畿・名古屋・在広島信州県人会の皆様方はじめ大勢の皆様のご支援ご声援を賜り誠にありがとうございました。



第5区激走 湯澤選手

皇后盃第36回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会 大会報告とお礼

長野県女子チーム監督 玉城 良二

関係各位のご協力を得て、この度の全国都道府県対抗女子駅伝大会に「8位入賞」を目標に挑みましたが、結果は9位、2時間17分47秒でした。

各県の実力伯仲とレベルアップしている大会となりましたが、序盤の高校生、中学生でトップ争いをしながら、レースの流れを作り、中盤から大学生、実業団選手が耐えしのぎ、再び高校生、中学生が上位争いをしながらタスキをつなぎました。アンカーは日本トップレベルの集結する区間の中で、トラックまで入賞争いをするという、手に汗握る、素晴らしい駅伝をしてくださいました。記録も過去の県記録を30秒上回る、長野県最高記録となりました。目標の入賞こそ達成できませんでしたが、この結果は必ず今後の長野県チームの更なる飛躍の一歩となると思います。

大会の参加にあたり、選手と役員の派遣にご協力いただきました関係者、「ふるさと選手」を気持ちよくご派遣をいただいた企業や各大学、ご支援をいただいた陸協関係者の方々、JATAC長野のトレーナーの先生方には心より感謝申し上げます。

今後は目標を更に高め、「メダル獲得」を目指し、これまでの育成スタイルを維持しつつ、もう一段高いレベルの選手強化を図り、県民の皆様のご期待に添えますよう頑張る所存です。今後とも一層のお力添えをお願い致しまして、お礼のご挨拶とさせていただきます。

【女子結果】

区間(距離km)	第 1 区 (6.0)		第 2 区 (4.0)		第 3 区 (3.0)		第 4 区 (4.0)	
選手名	高松 いずみ 長野東高 1 年		和田 有菜 長野東高 3 年		松井 美蓉 阿智中学 3 年		細田 あい 日本体育大 4 年	
チーム順位・記録	16	19分43秒	2	32分08秒	2	41分51秒	3	55分17秒
区間順位・記録	16	19分43秒	1	12分25秒	17	9分43秒	13	13分26秒
区間最高記録	19分29秒		12分25秒		9分14秒		新 12分32秒	
Top通過チーム 同記録	高知 19分29秒		大阪 32分07秒		大阪 41分51秒		長崎 54分51秒	
区間(距離km)	第 5 区 (4.1075)		第 6 区 (4.0875)		第 7 区 (4.0)		第 8 区 (3.0)	
選手名	湯澤 ほのか 積水化学		小林 成美 長野東高 2 年		小原 茉莉 長野東高 1 年		千葉 麻里子 飯田西中学 3 年	
チーム順位・記録	7	1:08分54秒	5	1:22分00秒	4	1:34分42秒	5	1:45分03秒
区間順位・記録	17	13分37秒	4	13分06秒	3	12分42秒	12	10分21秒
区間最高記録	13分04秒		12分56秒		12分27秒		9分42秒	
Top通過チーム 同記録	長崎 1:07分55秒		長崎 1:21分26秒		兵庫 1:33分55秒		兵庫 1:43分37秒	

上:第1区
スタート
直後の
高松選手第6区
順位を追
い上げた
小林選手

【男子結果】

区間(距離km)	第1区(7.0)	第2区(3.0)	第3区(8.5)	第4区(5.0)	第5区(8.5)	第6区(3.0)	第7区(13.0)
選手名 所属	松崎 咲人 佐久長聖高2年	伊藤 大志 赤穂中学3年	春日 千速 東海大4年	本間 敬大 佐久長聖高3年	中谷 雄飛 佐久長聖高3年	越 陽汰 川中島中学3年	關 颯人 東海大2年
チーム順位・記録	2 20分00秒	3 28分43秒	11 53分20秒	4 1:07分46秒	1 1:32分23秒	1 1:41分45秒	2 2:19分56秒
区間順位・記録	2 20分00秒	14 8分43秒	22 24分37秒	1 14分26秒	1 24分37秒	29 9分22秒	5 38分11秒
区間最高記録	19分56秒	新 8分14秒	23分43秒	14分26秒	24分37秒	8分50秒	37分12秒
Top通過チーム 同記録	熊本 19分56秒	熊本 28分27秒	茨城 52分53秒	茨城 1:07分23秒	長野 1:32分23秒	長野 1:41分45秒	埼玉 2:19分10秒

長野陸協アスレティックス・アワード 2017 天皇盃第 23 回全国男子駅伝大会準優勝祝賀会開催

長野陸上競技協会は2017年度栄章授与式を「長野陸協アスレティックス・アワード2017」として、平成30年2月10日（土）午前11時から、長野市 長野ホテル犀北館において開催した。同時に文部科学大臣表彰受章者、日本陸上競技連盟栄章受章者、日本体育協会受章者、長野県・長野県体育協会関係受章者のお祝い、並びに1月に広島で開催された第23回都道府県対抗駅伝大会準優勝祝賀会を行った。長野陸協各栄章は下記の陸協会員に、競技者の各章は合計125名（勲功章29名、優秀選手章67名、奨励章26名）を表彰した。会場には引率の先生方、保護者も含め200名余りが集い、引き続いて行われた「祝賀会」には、受章者、会員、競技者75名余りが参加し、共に盛大に開催された。

【長野県体育協会関係受章者】（敬称略）

有功章	藤森 茂幸(松本支部)
勲功章	北島 正孝(長野市支部)
	中村 一郎(大町支部)
	篠原 克修(諏訪支部)
栄光章	嶺村 鴻汰(富士通)
	宮坂 楓(ニッパツ)
	和田 有菜(長野東高)
	都道府県対抗駅伝男子チーム
	<2009・2014・2017 優勝、20112 位>

【長野陸協関係受章者】（敬称略）

特別功績章	太田 圭治(しなのメイト㈱)
審判員功労章	箱山 量一(上田支部)
指導者功績章	濱 喜一郎(諏訪支部)
	臼田 守(諏訪支部)
	藤原 牧人(松本支部)
	登玉 貴子(長野市支部)
	石川 和義(長野市支部)
	内堀 俊彦(佐久支部)
	帯刀 秀幸(上田支部)

地域スポーツ振興章

植松 昌枝(諏訪支部)
丸山 信一(上伊那支部)
大池 孝夫(塩尻支部)
村田 修一(長野市支部)
井尻 けさ代(千曲支部)

※文部科学大臣表彰、日本陸連、日本体育協会、長野県関係の受章者は、会報 161 号で紹介済み。
競技者の受章名簿と選考対象となった競技実績は、「2018 長野陸協要覧」に掲載する。



長野陸上競技協会 2017 アスレティックスアワード



右：特別功績章
下：日本陸連他受章者



指導者功績章受章者



地域スポーツ振興章受章者



勲功章受章者



優秀選手章受章者



奨励章受章者

第 20 回記念長野マラソン大会 4 月 15 日開催

初めてペースメーカー導入、20 回記念の取り組みも



長野マラソン大会組織委員会
事務局長 矢嶋 誠

長野マラソンは 4 月 15 日、第 20 回記念大会を迎えます。1998 年の長野冬季オリンピックを記念して、99 年に第 1 回を開き、主管の長野陸上競技協会の皆さんはじめ、多くのボランティア、このマラソンを愛してくださるランナーに支えられて、20 回の歴史を刻みます。

トップランナーと市民ランナーと一緒に走れる大会であり、制限時間 5 時間という市民ランナーにとっては高いハードルを設けていることが、真剣に走るランナーから強く支持され、全国の大会の中でもトップクラスの人気を誇っています。競技、大会運営に携わるボランティア、そして、ランナーに送られる沿道の絶え間ない応援も高い評価の理由であり、「長野五輪のレガシー」がしっかり受け継がれている大会といえます。

今回は、2020 年の東京五輪マラソンの代表選考会「MGC」出場権獲得を目指す国内男子トップ選手を後押しするため、初めて、ペースメーカーを男子のレースに導入します。国内の実業団選手らが、長野マラソンを足掛かりに、東京五輪に向けて飛躍してもらえることを期待しています。

また、大きな節目を迎える喜びを参加ランナーとともに分かち合うために、第 11 回から第 20 回大会まで写真を中心に振り返る写真グラフ誌を製作してエントリーされた皆さんに贈るほか、スタート会場へのモニュメント設置、記念植樹などを計画しています。

これからも、さらに多くのランナー、地域の皆さんに愛される大会となるよう、頑張りたいと思います。

第 20 回記念長野マラソンを迎えて

長野マラソン大会組織委員会事務局次長
長野陸協会長代行 伊藤 利博

今年で 20 回目を迎える長野マラソン、今では長野オリンピック記念の冠が取れてしまいましたが、20 年前長野県で開催された冬季オリンピックのレガシーを受け継いで来たマラソン大会となっています。

2 月に開催されたピョンチャンのオリンピックにおいて、長野県選手の活躍は、目を見張るものがありました。これこそ 20 年前に長野で開催されたオリンピックの遺産を、次の若い世代にしっかりと受け継いだとは思っております。金メダルを獲得した小平奈緒選手は M ウェーブで清水宏保選手の感動的な滑りを見て、当時小学生であった両角兄弟は、地元軽井沢で行われたカーリング競技に憧れ、スキー複合の渡部選手も白馬で見たクロスカントリー、スキージャンプを見て、その時の感動が目標となって切磋琢磨され、それぞれメダルの栄冠を手に入れました。

冒頭でも申し上げたように、長野オリンピック会場の目の前で応援出来た長野県民の思いが、長野マラソンの沿道を走る選手達の声援に繋がっていると思います。

一声掛ければ 3,000 余名のボランティアが集まり、当日は選手達におもてなしの心で接していただく事も、全てオリンピックのレガシーを受け継いでおります。

今回長野陸協の審判として携わってくださる方は、350 余名、協力をいただける信州大学生、松本大学生、長野高専学生が 110 名、補助員を担当して下さる長野市内高校、高専陸上競技部員 230 余名のご協力をいただき開催出来ます事は大変嬉しく、ありがたく思っております。

全国からやって来るランナーのために、アスリートファーストの心を長野から発信して行こうではありませんか。早朝から大変ですがよろしくお願い致します。

マラソン MGC (マラソングランドチャンピオンシップ) シリーズについて

ご承知のとおり、日本陸連は、2020 年東京オリンピックマラソン競技のメダル獲得を目指して、2017 年夏からオリンピックに向けた強化とリンクした新たな選考方法「MGC シリーズ」をスタートさせ、MGC で 2 枠、MGC ファイナルチャレンジで 1 枠を決定するとしています。長野マラソンは、ワイルドカードの大会 (2017 年 8 月 1 日～2019 年 4 月 30 日までに開催される、国際陸上競技連盟が世界記録を公認する競技会) に指定され、条件を満たした競技者は「MGC」への出場権が得られます。

その条件は、i. 男子 2 時間 08 分 30 秒以内、女子 2 時間 24 分 00 秒以内

ii. 期間内の上位 2 つの記録の平均が、男子 2 時間 11 分 00 秒以内、女子 2 時間 28 分 00 秒以内

MGC 出場資格者は 2018 年 3 月 11 日現在で、男子は設楽悠太選手 (Honda、2:06:11) を筆頭に 13 名、女子は松田瑞生選手 (ダイハツ、2:22:44) ら 6 名が確定しています。県内関係者は、大迫傑選手 (Nike ORPJT、2:07:19)、佐藤悠基選手 (日清食品グループ、2:08:58)、村澤明伸選手 (日清食品グループ、2:09:47)、宮脇千博選手 (トヨタ自動車、2:08:45) の 4 名が確定しています。

長野マラソン大会記録：男子 F. キビワット (ケニア) 2:09:05 [第 14 回/2012/4/5]、女子 E. アレム (エチオピア) 2:24:55 [第 2 回/2000/4/9]

2027 年 第 82 回国民体育大会に向けて

9 年後

長野陸協としての国体プロジェクト等について

理事長 内山 了治

あと 9 年となった 2 巡目国体については、長野県の動きがようやく見えてきました。長野陸協では、第 32 回理事会(2017/6/24)において、「長野陸協 2027 国体プロジェクト」を下記のとおり決定し、少しずつ動き始めていますが、加速させなければなりません。国体をどうデザイン(企画・運営・あと利用等)するか、競技力・競技運営力の向上(審判員確保)、施設整備・充実等様々な課題がありますが、陸協が一体となり推し進める必要があります。ご協力をお願い致します。

〔プロジェクト名：総括・リーダー：理事メンバー〕

1. デザイン：会長・理事長：葛城：伊藤、細田(完)、小松、石坂、玉城、芳川
2. 競技力向上：会長・理事長：藤森：玉城、名取(和)酒井、篠原、細田(健)、小川
3. 競技運営力向上：会長・理事長：青柳：小口木戸岡、森、瀧沢、横打、芳川
4. 競技施設：会長・理事長：名取(充)：青山、杉崎北島、横川、足立、酒井、小川

1. デザイン (理事長)

- (1)【競技目標】：県が提示した開催基本方針「実施目標」の実現に向けて、特に競技別優勝を目指す。
- (2)陸上競技協会として【競技力向上】と【ウェルネス陸上】の 2 本柱(JAAF)を軸に取り組む。
- (3)【競技力向上】については、ターゲットエイジ(表 1)をしっかりと先取りし、一貫指導に取り組む。最近の国体入賞者を考察すると、中学校段階で全中またはジュニアオリンピックの入賞が一つの目安とも言える。この時期にこうした成績をあげるには、小学校段階での神経系の発達(効率的な動きの習得:ジャンプ系ではエキセントリックな動き、股関節と肩関節の可動域拡大)や効率的な走の動き(特に身体重心のスムーズな移動、過度なキックの強調は避ける等)の獲得が必要であると思われる。
- (4)【ウェルネス陸上】については、一般の方への「歩」、「走」の基本的な運動構造の理解・周知等が重要となる。例えば、競歩の動きは股関節や肩関節の可動域や柔軟性拡

大に有効であるが、動きを「走」にそのままあてはめると、走動作の切り替えが遅れ逆効果となる。

(5)【地域の組織化】総合型地域スポーツクラブ から 陸協主導のスポーツクラブ設立へ

この 2 月に自民党のスポーツ立国調査会が学校の部活動について、少子化の現状等から、地域に総合型のスポーツクラブを設け複数の学校の生徒による活動を推進すべきなどとする提言案の骨子をまとめたことは記憶に新しいが、中学校での運動部活動が、教員の働き方改革と連動し、学校から離れ地域スポーツに移行していくことは、ある程度は推察される。さらに、この 3 月に部活動のガイドラインが文科省から発表されるが、こうしたときに、子供達を指導する組織と質の高い一貫指導を本質的に理解している指導者の養成が急務と言える。

(6)【運動部の地域スポーツへの移行、教員の重点配置と国体に向けた取り組み活動】

仮に、中学運動部が学校の外に出て、その後高校でも同様な動きが生じた場合でも、教員が所属校で指導できる環境は必要である。17 時に校務を終え、直ちに地域クラブの活動ができる仕組みづくり、国体関係の準備会議や実務に教員が関わる場合に勤務時間内であっても「任務」として取り組み、各職場で温かく受け入れられる環境等が必要となる。また、教員の地域スポーツ指導者と連動した配置、10～15 年くらい同一環境で継続的に指導できる勤務体制等なども強く関係機関へ要望して行きたい。

(7)【指導者の質の向上】

地域スポーツの指導者としても、常なる研修により指導力の向上は必要である。教員業務を行いながら研修を積めるシステムづくりと、指導者への努力・成果の見返りが手当てされるシステムも必要といえる。

(8)【競技会場】

- 1)アクセス、駐車場、岩手は道路を挟んで東京ディズニーリゾート並の駐車場があり最高であった。
- 2)会場：ビッグスワンのような屋根付きで競技場入口ロータリーに設置された荷物積載場所のような配慮が必要。
- 3)競技場：競技力を高め、競技者、観客そして審判員が一体となれる構造、レイアウト。特に雨、雪、風の影響を受けにくい構造。障がい者のアクセスや動線を熟慮。伊勢の競技場を参考

競技場を参考

にしたい。また、音響、映像、情報関連は将来の発展性を見込んだ設計

表 1 ターゲットエイジ・開催地・得点目標

西暦	2027	2026	2025	2024	2023	2022	2021	2020	2019	2018	2017
学年 & 年齢(歳)	大 4:22	21	20	19	18	17	16	15	14	中 1:13	天皇杯 55点11位 皇后杯 41点9位
	高 3:18	17	16	15	14	13	12	11	10	小 3:9	
	中 3:15	14	13	12	11	10	9	8	小 1:7	幼:6	
開催予定地	長野	宮崎	青森	滋賀	佐賀	栃木	三重	鹿児島	茨城	福井	
目標得点	110	110-100				80		60		60(46)	55
目標順位	1	2-3				4-6		7-10		8-10	11

が必要。特にスクリーンは競技運営と競技情報通知のため最低 2 基、随所に 100 インチ程度の 3 面モニター設置も必要となる。

4) 補助競技場：メイン競技場と軸を一致させ、極力隣接する。ビッグスワンのように、競技者と観客のコントロールがうまく行えるよう地下通路・フェンス等を工夫する。

5) 雨天練習場：最大の課題である長野県における冬の練習場所を確保する。最低でも棒高・三段跳を可能とする。

6) 投擲練習場：やり投と円盤投・ハンマー投ピットは分離する。1978 年国体は現在の補助競技場西側のサッカー場が投擲練習場であった。

7) 競技場内諸室については、効率良く作業ができるスペースと、アフタースポーツで、競技者や観客、一般の方が交流・くつろぐ場がある施設とする。

(9) 【レガシー・あと利用】

1978 年国体の反省を生かした取り組みが重要となる。松本平広域公園メイン競技場は、バック側走幅跳ピット増設や 9 レーン化、水濠を 9 レーン外側に移動設置、補助競技場も 8 レーン全天候化・3 種競技場への規則変更等に対応していただき、当初から素晴らしい設計と思想があったと言える。しかし、スタンドや構造物は近代化への対応が困難で、映像・音響改善、照明も 100Lx では危険で、鳥獣の糞対策もままならない状況等があり、近年の「観客と共に盛り上げる競技会、魅せる大会」には施設の限界がある。20-50 年先まで見越した設計が必要となる。そのような施設であれば有機的なあと利用ができるものと思われる。

2. 競技力向上プロジェクト (藤森 普及強化委員長)

(1) 【選手育成・強化】国体目標は表 1。具体的方策

- ・県外の強豪県、強豪校との合宿、強化練習会実施回数、少年種別特にジュニア部の強化合宿実施回数を増やす。
- ・小学生の遠征、練習会の実施回数を増やす。
- ・中体連、高体連と連携した選手の普及強化。

(2) 【選手発掘】具体的方策

- ・小学生、中学生対象講習会：中学校、高校でも陸上競技を続けてもらえるように意識付けをすることを目的に、オリンピック選手、一線級選手（できれば長野県出身選手）を講師に招いて講習会を行う。
- ・小、中学生一線級選手合同練習会：小学生に中学校でも陸上競技を続けてもらえるような意識・動機付けをすることを目的に行う
- ・競技間トランスファー、陸上競技内の種目間トランスファーを見据えた指導

(3) 【指導者養成】具体的方策

- ・日体協公認コーチ資格保有者を増やす
- ・U-19 全国合宿、県外の強豪県、強豪校との合宿等に参加し、指導法を研修する。
- ・スプリント学会等に参加し、最新の情報を研修する。

- ・中体連-高体連と連携し、指導者の指導力向上に努める

(4) 【競技者育成システムトレーニングプランの作成】

- ・小学生～シニアまで一貫した指導ができる指導書の作成

(5) 【県外トップアスリートの獲得（成年選手）】

3. 競技運営力向上プロジェクト (青柳 競技運営委員長)

(1) 若手審判員の確保…2017 年度に広がった「高校 3 年生での新規取得」は、日本陸連の中でも注目されている。高体連と協力し、積極的に取得できる環境を作りたい。

⇒若手にとって、高い登録料はネック。縦断駅伝のチーム強化費として上乘せしている支部もあり、登録を渋る・継続しない一因にもなっていると思われる。縦断駅伝のチーム≠支部陸協(前回理事会で確認)であることから、シンプルに登録料+雑費程度の年会費にならないか。

(2) 審判員の継続登録のために…ここ数年、50 人前後の新規登録だが、継続することが難しいのが現状です。「続けていて、楽しい」と思えるような環境を作りたい。

⇒審判員の中で誘い合い、新規取得が進んだり審判に来ることが増えたりしている部署があります(競技者係・写真判定員)。部署ごとの取り組みも効果大です(頼られると頑張ってしまうものです)。

⇒過去には、せっかく取得して審判に来ているのに、怒られて去っていった方も少なくありません。やはり、良い人間関係の中で活動したい。…逆にいうと、足を引っ張る、悪影響を与える方には申し訳ありませんが、遠慮してもらう必要があるかもしれません。

(3) 日本混成・全中で評価された長野陸協の運営能力を、キープ・向上するために…「特別なこと」を「当たり前」にすれば、それが「当たり前」にできるようになる。

⇒写真判定(インカメラ・ビーム)・マグサイン(フィールド内設置)・光波測定(今年度は大活躍)・遅れない進行(ディレクターを核にした運営・フィールドの旗振り)・リレー決勝のレーンイン

⇒現在の長野陸協の大会運営能力は、自信を持っていい状態と言えます。しかし、大会が休みなく続いており、スタッフは疲弊しています(「ここ 1・2 年だったら頑張れるけど、何年も続くとなると無理だ」と語る審判員も)。ギリギリの状態を保っている中で、4 月・6 月～7 月は、「毎週審判編成」、「毎週プロ編」、「毎週入稿」、「毎週進行表作成」、「毎週トランシーバーの確保」そして「毎週審判」という状況でした。

⇒部署によっては、数年前と人員が変わらず、「いつもの人」の中での運営で、誰かが欠席すると非常に苦しい状況があるところがあります。今後、競技会の位置づけや時期、競技会の統廃合も含めた検討を本気で行い、『持続可能な体制』を構築し、その中で競技運営能力の向上を図っていきたい。(県陸協主催大会時の支部陸協での競技会実施についても課題である)

4. 競技施設プロジェクト (名取充 施設用器具委員長)

長野県松本平広域公園陸上競技場の施設・設備の改修、充実に関するお願い及び、2 巡目長野国体に向けた陸上競技に関する意見交換会(長野県ご関係者と長野陸協との懇談会)を実施した。2018 年 4 月中に第 2 回目の懇談会を実施したい。様々な観点から競技場に関するご意見をいただきたい。

5. 昭和 53 年の体験から (小松茂美 国体担当理事)

(1)他競技団体との連携をスタートさせる

「第 82 回国民体育大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会」がどのように活動していくかにもありますが、「開催地の決定」「競技会場の整備、改築」「選手強化」等々、関係競技団体の抱える課題は同じです。横の連携強化が必要です。

(2)「第 82 回国民体育大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会」の長野県開催の周知:一人でも多くの県民が知ることにより、「する・みる・支える」の気持ちや開催気運の広がりにつながるものと考えます。結果、県民が私たちの応援団になってくれることでしょう。

(3)競技の普及・強化に関して「持続可能」な新たな動きを加速させる

学校の運動部活動の在り方については地域クラブへの移行等の動きが以前から毎年示されながら、結局のところ現状維持路線がこれまで長きの間にわたり続いてきています。しかし、このところの働き方改革やブラック部活等々の動きの中で不透明ではありますが、今後大きな転換が起きそうな予感もあります。

そこで、小学生対象の教室や講習会を実施したり、近隣の競技者や指導者(学校やクラブの枠を超えて)が集まり定期的に強化練習会等が実施できる環境づくりを進めることが必要と考えます。一人の指導者が、走・跳・投すべての分野にわたり専門的な指導をすることには限界があります。指導者も協力しあうことにより、個々の競技者により充実した指導が可能となります。加えて「自分たちのチーム」という意識だけでなく「チーム長野」の意識も強く持てるようになると思います。

指導者の確保や理解、運営資金の確保等々様々な困難な課題は多々ありますが、今後の日本のスポーツ界を考えた時、今が大きな決断・転換に向かうべきターニングポイントではないかと感じています。逆に、今、部活動の在り方を中心に今後の対応に失敗すれば、日本の競技スポーツは大変な状況に追い込まれるでしょう。そんな時期に二巡目の国体開催が内々定したことは、日本国内の動きを見定めながら「長野モデル」を創りだしなさいという強力なメッセージかもしれません。失敗は許されませんが・・・。

(4)長期的な視点を持って要求を

松本平広域公園陸上競技場の不具合の解消を要望して

いく必要性はありますが、陸上競技の開催地が未確定の状況下では難しい面もあります。目先の不具合・不都合にとらわれて、その場しのぎ的な対応にならない配慮が必要でしょう。

(5)「やまびこ国体」当時を振り返り

1)指導者の意識の変化

私が教員になったのは昭和 50 年、昭和 51 年長野インターハイ、昭和 53 年やまびこ国体開催に向けて審判員の養成や選手強化に取り組んでいる時でした。当時の指導者の多くは「全国大会に出場することが目標」であり、そこでどう戦うのか意識している指導者は少なかったと感じています。当然選手にもその意識は伝わりますから、出場権を取った段階で練習意欲が低下していく選手もいたと感じています。

また、自分が指導している選手が他の指導者から指導を受けることに抵抗感を持っていた指導者もおられ、県陸協強化部主導の合宿や遠征等への協力に消極的な指導者も正直見受けられました。自分が育ててきた選手であり、慣れない練習によりけが等をするのを心配していたことが窺えました。

しかし、長野インターハイ・やまびこ国体に向けた取り組みの中で、「全国の舞台で活躍することが目標」になる指導者が多くなり、自分の指導の手の中にとどめておくのではなく、広く指導の場を外に求める指導者が多くなったと感じました。これは大変大きな成果・遺産ではないかと思っています。

今、この意識変革をさらに推し進め、(3)で記したことにつなげることができないかと思います。

2)やれば結果はついてくる

長野インターハイ・やまびこ国体での陸上競技の結果は素晴らしいものであったと、関係した者として自負しています。それは、土・日や休日の大半を合宿や遠征に取り組み、来る日も来る日も練習に明け暮れた成果です。そして、それは選手の指導に日夜取り組んでいたいただいた指導者の先生方のご尽力の賜物でもありました。

加えて、明確な目標達成に向けた日々の地道な取り組みが、大きな成果につながる事が証明された瞬間でもありました。

スポーツに対する考え方や取り組む姿勢は、時代とともに変化をしてくれています。練習方法等も日々進歩しています。しかし、「練習があつて成果がある」という事実は、今も昔も変わりません。

各競技団体がどのような競技結果を残すことができたかは、二巡目国体の成果を左右するものでもあります。そして、それは練習環境の整備がどこまでできるかにかかっています。やまびこ国体の経験を、今後の施策に反映させたいものです。

2017 年度(H30/1/14~3/18) 主要競技会結果一覧 (全国大会は 8 位入賞まで)

皇后盃 第 36 回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会

期日：平成 30 年 1 月 14 日

場所：京都市西京極総合運動公園陸上競技場
付設駅伝コース

- ①兵 庫 2 時間 15 分 28 秒
- ②京 都 2 時間 16 分 41 秒
- ③長 崎 2 時間 16 分 42 秒
- ④岡 山 2 時間 17 分 00 秒
- ⑤大 阪 2 時間 17 分 15 秒
- ⑥神奈川 2 時間 17 分 23 秒
- ⑦福 岡 2 時間 17 分 40 秒
- ⑧愛 知 2 時間 17 分 44 秒

天皇盃 第 23 回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会

期日：平成 30 年 1 月 21 日

場所：平和記念公園前を出発、平和大通り、宮島街道を西進し、JR 前空駅東（廿日市市大野）を折り返し、平和大通り、城南通りを経由、平和記念公園前を決勝とする 7 区間、48.0km のコース

- ①埼 玉 2 時間 19 分 10 秒
- ②長 野 2 時間 19 分 56 秒
- ③千 葉 2 時間 20 分 34 秒
- ④福 岡 2 時間 20 分 55 秒
- ⑤群 馬 2 時間 20 分 59 秒
- ⑥山 口 2 時間 21 分 01 秒
- ⑦神奈川 2 時間 21 分 09 秒
- ⑧茨 城 2 時間 21 分 24 秒

2018 U20 日本室内陸上 大阪大会

期日：平成 30 年 2 月 3 日~4 日

場所：大阪城ホール

【女子】

▶中学 60mH(0.762m)

- ⑤土屋 ほのか(軽井沢 AAC) 8.80

第 3 回全国中学生 クロスカントリー選手権大会

期日：平成 30 年 2 月 4 日

場所：千葉市緑区土気町「昭和の森」

【男子】

▶3km

- ③伊藤 大志(赤穂中) 9:06

第101回日本選手権 20km 競歩

期日：平成 30 年 2 月 18 日

場所：六甲アイランド甲南大学周辺コース

【女子】

- ⑤溝口 友己歩(早大) 1:36:36

第 33 回 U20 日本選手権 クロスカントリー競走

期日：平成 30 年 2 月 24 日

場所：国営海の中道海浜公園クロスカントリーコース

【男子】

▶8km

- ①中谷 雄飛(佐久長聖高) 24:05(2 連覇)
- ③松崎 咲人(佐久長聖高) 24:23
- ⑤本間 敬大(佐久長聖高) 24:31
- ⑦服部 凱杏(佐久長聖高) 24:40

【女子】

▶6km

- ③和田 有菜(長野東高) 20:02
- ④小林 成美(長野東高) 20:02

第 14 回アジアクロスカントリー 選手権大会

期日：平成 30 年 3 月 15 日

場所：中国・貴陽

【男子】(日本代表・団体優勝)

▶ジュニア 8km

- ②中谷 雄飛(佐久長聖高) 25:39

【女子】(日本代表・団体優勝)

▶ジュニア 6km

- ①和田 有菜(長野東高) 20:43

男子第 41 回 春の高校伊那駅伝

期日：平成 30 年 3 月 18 日

場所：伊那市陸上競技場発着～高遠町商店街折返しコース(42.195km)

【総合の部】

- ①佐久長聖 長野 2 時間 10 分 23 秒
- ②倉敷 岡山 2 時間 11 分 12 秒
- ③学法石川 福島 2 時間 11 分 27 秒
- ④埼玉栄 埼玉 2 時間 12 分 35 秒
- ⑤須磨学園 兵庫 2 時間 12 分 40 秒
- ⑥九州学院 熊本 2 時間 13 分 18 秒
- ⑦秋田工 秋田 2 時間 13 分 43 秒
- ⑧仙台育英 宮城 2 時間 13 分 52 秒

【区間賞】※：区間新

- 第 1 区(6.6km) 服部凱杏(1) 佐久長聖※19:01
- 第 2 区(8.9km) 松崎咲人(2) 佐久長聖 27:29
- 第 3 区(7.2km) 鈴木芽吹(1) 佐久長聖 22:41
- 第 4 区(9.1km) 横田俊吾(2) 学法石川 27:58
- 第 5 区(5.1km) フレミングガット(1) 倉敷 14:19
- 区間タイ
- 第 6 区(5.295km) 柴田宜憲(1) 秋田工 17:01

【県内学校対抗の部】

- ①佐久長聖 2 時間 10 分 23 秒
- ②上田西 2 時間 21 分 19 秒
- ③東海大諏訪 2 時間 24 分 16 秒
- ④長野日大 2 時間 25 分 05 秒
- ⑤伊那北 2 時間 26 分 53 秒
- ⑥長野 2 時間 28 分 56 秒

【区間賞】※：区間新

- 第 1 区(6.6km) 服部凱杏(1) 佐久長聖※19:01
- 第 2 区(8.9km) 松崎咲人(2) 佐久長聖 27:29
- 第 3 区(7.2km) 鈴木芽吹(1) 佐久長聖※22:41
- 第 4 区(9.1km) 宇津野篤(1) 佐久長聖 28:26
- 第 5 区(5.1km) 富田陸空(1) 佐久長聖※15:10
- 第 6 区(5.295km) 木村暁仁(1) 佐久長聖 17:36
- 【伊藤 国光杯】服部凱杏 佐久長聖(1)

女子第 34 回 春の高校伊那駅伝

期日：平成 30 年 3 月 18 日

場所：伊那市陸上競技場発着～伊那北折返し～西春近柳沢折返しコース(21.0975km)

【総合の部】

- ①長野東 長野 1 時間 10 分 44 秒
- ②仙台育英 宮城 1 時間 12 分 16 秒
- ③大阪薫英女学院 大阪 1 時間 12 分 42 秒
- ④順天 東京 1 時間 12 分 43 秒
- ⑤成田 千葉 1 時間 13 分 27 秒
- ⑥北九州市立 福岡 1 時間 13 分 49 秒
- ⑦荏田 神奈川 1 時間 13 分 55 秒
- ⑧比叡山 滋賀 1 時間 14 分 23 秒

【区間賞】

- 第 1 区(5.9km) 萩谷楓(2) 長野東 19:42
- 第 2 区(2.6km) 臼田彩花(2) 長野東 8:23
- 第 3 区(4.3km) エスタムソニ(1) 仙台育英 14:49
- 第 4 区(4.7km) 小林成美(2) 長野東 15:31
- 第 5 区(3.5975km) 木村梨七(1) 仙台育英 12:10

【県内学校対抗の部】

- ①長野東 1 時間 10 分 44 秒
- ②東海大諏訪 1 時間 19 分 51 秒
- ③諏訪二葉 1 時間 20 分 33 秒
- ④長野日大 1 時間 22 分 13 秒
- ⑤松本県ヶ丘 1 時間 24 分 05 秒
- ⑥上田 1 時間 27 分 37 秒

【区間賞】※：区間新

- 第 1 区(5.9km) 萩谷楓(2) 長野東 19:42
- 第 2 区(2.6km) 臼田彩花(2) 長野東 8:23
- 第 3 区(4.3km) 高松いずみ(1) 長野東 14:56
- 第 4 区(4.7km) 小林成美(2) 長野東 ※15:31
- 第 5 区(3.5975km) 小原茉莉(1) 長野東 ※12:12
- 【伊藤 国光杯】小林成美 長野東(2)

第 22 回 中学生長距離競走 伊那大会

期日：平成 30 年 3 月 18 日

場所：伊那市陸上競技場発着

【男子】▶3000m

- ①伊藤 大志(3) 赤穂 9.08.11
- ②山川 拓馬(2) 箕輪 9.08.85
- ③吉岡 大翔(1) 川中島 9.12.00

【女子】▶2000m

- ①千葉 麻里子(3) 飯田西 6.36.63
- ②中村 柚音(2) 箕輪 6.37.44
- ③筒井 心葉(1) 飯田高陵 6.45.68

長野陸協会議録

第 36 回理事会 平成 30 年 3 月 5 日(日) 13:00~14:00

場所: 松本市アルウィン (第 1 会議室・第 2 会議室)

出席者数 理事 21 名(開催要件: 定款第 36 条 定足数 1/2) 監事 2 名
議事録署名人 内山代表理事、市川監事

議 事 (議長 代表理事)

1. 協議事項 (すべて原案どおり承認された。)

議案第 1 号 2017 年度委員会・部会活動報告について

議案第 2 号 H29 年に樹立された長野県の記録の承認について

議案第 3 号 委員会に関わる規程・内規等の変更について

議案第 4 号 2018 年度事業計画案について

議案第 5 号 2018 年度予算案について

その他 ・国体プロジェクトについて

・B 級公認審判員の追加公認について

【報告事項】

(1) 報告会報発行について

(2) 2018 年度諸会議日程について

(3) 要覧、2018 年度プログラム、保険等業者選定について

(4) 第 67 回長野県縦断駅伝について

(5) 東海陸協関係: 常務理事会議事録について

(6) 2018 年度 S 級審判員昇格審査結果

(7) 東京オリンピックに向けた NTO 試験合格者速報

(8) 第 73 回福井しあわせ元気国体協力審判員の派遣について

※「第 16 回評議員会(3/30 開催)」は次号に掲載します。

長野陸協からのお知らせ

1. 企業のご協賛: 2017 年度は下記 42 社様(敬称略)からご協賛を賜りました。心から感謝申し上げます。

2018 年度もよろしくお願い申し上げます。

【ゴールドスポンサー 2 社】

しなのメイト株式会社、ミズノ株式会社

【長野陸協ホームページ バナー広告スポンサー 6 社】

奥アンソーカ株式会社、株式会社 JTB 中部 長野支店

株式会社アクティブライフ、(株)杏花印刷 (Nsports)

株式会社日本旅行長野支店、株式会社クレマーージャパン

【横断幕スポンサー 4 社】

株式会社中嶋製作所、コトヒラ工業株式会社

ジュネスハケ岳、長野菅公学生服株式会社

【広告協賛 A 4 全ページ 5 社】

有限会社シナノ体器

株式会社長野銀行、中央プリント株式会社

中野土建株式会社、株式会社匠電舎

【広告協賛 A 4 半ページ 24 社】

アルピコホールディングス株式会社、(株)角藤

安保塗装株式会社、株式会社アンドー

株式会社王滝、株式会社信州グリーン

株式会社スマイルハウス、株式会社タカサワマテリアル

株式会社巴屋、株式会社フロンティア・スプリット

サニアパーク、松本ガス株式会社

セイコータイムシステム株式会社信越営業所

ミノワスポーツ、有限会社ユニバーサル運輸

株式会社ニシ・スポーツ、菅平旅館組合

株式会社ワコールホールディングス、(株)ヤマウラ

株式会社長野ホテル犀北館

社会医療法人栗山会 飯田病院

株式会社中屋スポーツ、株式会社アイワ徽章

瑞広庵

【広告協賛 その他 1 社】

東武トップツアーズ株式会社

2. 公認指導者数 (抜粋)

2017 年 11 月 16 日付けの公認指導者、コーチ取得者等です。今後は多くの方に取得していただきたいと思います。

所属 県	JAAFジュニアコーチ		JAAFコーチ		単位:人
	指導員	上級指導員	コーチ	上級コーチ	
新潟	60	5	25	5	95
富山	83	0	11	1	95
石川	43	1	10	3	57
福井	52	0	18	2	72
長野	39	2	31	5	77
静岡	94	7	26	5	132
愛知	70	0	34	5	109
岐阜	34	5	17	4	60
三重	75	1	25	4	105
全国	2,767	85	895	227	3,974

3. 2018 年度 第 67 回長野県縦断駅伝の開催について

大会要項、競技注意事項、並びに各種規則の遵守を共通理解・根底にした競技・大会運営を行う約束で、開催が認められた。今後は、安全及び渋滞対策として、危険箇所のコース変更検討、チーム数縮小等を検討していく。

4. 2018 年度 S 級審判員 昇格審査結果 (日本陸連 競技

運営委員会 2018/2/22)、全国 214 名(申請 215 名)

愛知 2、静岡 9、三重 3、岐阜 4 名、

長野陸協 内山 了治(長野市)、永井 俊彦(長野市)

村田 修一(長野市)、水口 壽尚(諏訪)

5. 第 73 回福井しあわせ元気国体協力審判員の派遣

大会を主管する福井陸協から長野陸協に 2 名(マーシャルと跳躍・棒高跳各 1 名)の協力要請の打診があり、競技運営委員長から推薦された下記 2 名(理事と競技運営委員会委員)を確定した。(石川県 16-18 名、富山 3 名、新潟 2 名、長野 2 名、合計 25 名程度)。北信越高校大会などで事前研修を積み、国体を迎える。

開催期間 平成 30 年 10 月 5 日(金)~ 10 月 9 日(火)

5 泊 6 日(10 月 4 日宿舍入り)

横打 史雄(理事): マーシャル

山崎 将文(委員): 跳躍 <福井県出身>

6. 東京オリンピックに向けた NTO 試験合格者(敬称略)

JTO:青柳 智之、陸協推薦:玉城 良二、酒井 剛、横打 史雄



7. 松本マラソンについて: 2018 年も長野陸協が主催者に加わる。第 36 回理事会にて確認。

8. 日本陸上競技連盟栄章について

伊藤 利博 会長代行が「功労章」に確定

2018 年 3 月 16 日(金) 14 時から、公益財団法人日本陸上競技連盟 第 48 回理事会が開催され、栄章関係が確定した。長野陸協からの推薦者は全てお認めいただいた。

確定者(敬称略、年齢・役職等は 2018 年 3 月 31 日現在)

【2017 年度 功労章】

東海・長野 伊藤 利博(77) 長野陸協副会長
四国・香川 都村 忠弘(81) 香川陸協 会長
本部・学連 永井 純(72) 日本学連 専務理事

【2017 年度 秩父宮章】<東海・長野は該当年ではない>

静岡 石野 吟策(68) 静岡陸上競技協会 常務理事
愛知 稲垣 隆司(72) 東海陸協・愛知陸協 会長
愛知 新見 精三(69) 愛知陸協 理事
岐阜 安福 弘典(65) 岐阜陸協 常務理事

【2017 年度 高校優秀指導者章】

長野 野村 勝己(63) (元)長野陸協普及強化コーチ

【2017 年度 中学優秀指導者章】

長野 竹内 万祐(66) 長野陸協普及強化コーチ

【2017 年度 高校優秀選手章】

長野 和田 有菜(18) 長野県長野東高等学校

日本選手権 2017 年 1500m 4 分 17 秒 77 3 位

【2017 年度 中学優秀選手章】

長野 伊藤 大志(15) 駒ヶ根市立赤穂中学校

全日本中学 2017 年 3000m 8 分 38 秒 71 5 位

おめでとうございます

9. 「長野陸上競技協会創立70周年記念誌」販売中

70周年記念誌が、若干残っております。購入を希望する方は、長野陸協HPの申込用紙か E-mail <info07@nagano-rk.com> でお願ひします。1冊 税込み 2,500円(郵送希望の場合送料別途100円)、代金は指定の口座にお振り込みください。

<主な掲載内容>

【寄稿】○東海大学陸上競技部駅伝監督 両角速氏、○千代馨脩氏、○千代 和二郎氏、○依田良春氏、○大日向暁子氏
【長野陸協 30 年のあゆみ】、【記録の変遷】、□歴代ランキング、長野県の記録、歴代県選手権者、【協会関係】栄章の記録、歴代役員、登録審判名簿他、A4版 135P (事務局長)

10. 「日本体育協会」→「日本スポーツ協会」に名称変更

2018年4月1日から日本体育協会の名称が変更されます。

公益財団法人日本スポーツ協会

『長年にわたり冠してきた「体育」を「スポーツ」に変更することは、社会のスポーツへの関心と期待がかつてないほど高まっていることに対応し、「スポーツ」という文化を後世に継承していくために決断したものです。(略)』

(引用、Sports Japan vol. 36, P. 91, 2018)

英文 [これまで] Japan Sports Association

[今 後] Japan Sport Association

Sports から Sport の単数形に変更されますが、これは、『スポーツを競技や種目の集合体ではなく「一つの文化」として捉えるため、単数形の「Sport」に変更するものです。』(引用、同上) 雑誌名も同様に変更されるそうです。

略称はどうなるのでしょうか? 「日体協」→「???」

☆公益財団法人長野県体育協会は 2018 年度中の変更はないそうです。

お悔やみ (2017/3/19~2018/3/20、敬称略)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

命日	氏 名 (享年)	(所属支部)
2017/ 4/ 4	有賀 友衛 様(73)	(上伊那)
2017/ 4/10	川上 修 様(69)	(安曇野)
2017/ 5/26	米窪 辰男 様(90)	(塩尻)※旧会員
2017/ 8/14	梅澤 守 様(78)	(佐久)
2017/ 9/20	赤穂 正孝 様(66)	(上田)
2017/ 9/ 2	北原 茂知 様(83)	(諏訪)※旧会員
2017/10/ 2	鮎沢 亨 様(80)	(上田)※旧会員
2017/10/23	日下 久夫 様(91)	(大北)※旧会員
2018/ 2/18	中川 弘道 様(80)	(大北)

会員の寄稿 評議員(元副会長) 堀 晃

奈緒ちゃん天辺へ上る 平昌オリンピック観戦記



スピードスケートの女子 500m、W杯など 24 連勝中の小平奈緒選手に隙は無かった。

2 月 18 日、平昌五輪、江陵オーバルへ「小平奈緒応援団」の一員として参加した。宿泊地のソウルからバスで 3 時間半、大駐車場からシャトルバスで 15 分、飛行機と同じセキュリティチェックを受けてようやく競技場内へ入る。

男子パシュート予選のあといいよ女子 500m 決勝、小平選手は全 16 組中 14 組に登場、同走はチェコの選手。ゴーツァスタート、レディ、号砲までの時間が他の組よりも長い。小平選手の上体がピクリと動いた。あっフライングだ、小平選手ほどになっても緊張があるのかと少し心打たれたのだが、そのまま号砲が鳴ってスタートが切られた。ちょっと前へ出た体を引き戻したときに号砲があったので出遅れたではないか。それでも 100m 通過が 10 秒 26 でそれまでのトップ、そのままの勢いでゴールを滑りぬけ、電光掲示板には 36 秒 94・オリンピック新記録と直ちに表示された。目の前が霞んで見えない。

次の組の李相花は 37 秒 34、これで小平選手の金メダルは決まりも同然。最後の組が終わり、金メダルが確定すると結城コーチから日の丸を受け取りしばらく同走、その後 2 位の李相花と場内を回り声援に応えた。涙する李相花に寄り添う場面は当に平和と友情の祭典に相応しく感動的であった。夏のトレーニングで血液を鍛え氷と対話するという奈緒ちゃんは完璧で、後は世界記録を塗り替えるのみである。

夏冬通じて個人種目で長野県出身の金メダリスト第 1 号、おめでとう。(写真は堀評議員の提供)



後記：今回も慌ただしく発行となりました。ご協力に感謝致します。アジアクロカン和田さん優勝・団体男女優勝、春の伊那高校駅伝も男女優勝で、2018 は素晴らしいスタートとなりました。今シーズンの、選手の活躍が楽しみです。協会へのご協力もよろしくお願い致します。(理事長)

アジアクロカン和田優勝、中谷 2 位

平成30年3月15日、中国・貴陽で開催された第14回アジアクロスカントリー選手権大会に、日本代表として出場した和田さんが優勝(女子ジュニア6km)、中谷君が2位(男子ジュニア8km)、団体は共に優勝した。

詳細はP.9参照
(写真 玉城先生提供)



白鳥伊那市長 公認審判員で初打ち



3月18日に開催された春の高校伊那駅伝で、伊那市長白鳥様が、日本陸連公認審判員取得後初めて号砲を鳴らした。審判員としての風格が感じられる。

上：インタビューを受ける

玉城長野東監督とVサインの高見澤監督

下：女子初優勝の長野東高校、

左：男子2連覇の佐久長聖高校 (写真 理事長提供)

